

多言語対応推進セミナー2018

講演 (デイビッド・セイン氏)

仕事で外国人と会う人は多いと思いますが、外国人が近づいてきたら、「まずい、助けて」という気持ちになっていませんか？ 英語を間違えたら外国人は怒ると思っていませんか？ 正しくない発音で英語を話したら外国人には通じないと思っていませんか？

日本人が英語を間違えても外国人は怒りません。発音についてもそれほど気にしなくてもいいでしょう。多少間違っている、十分通じると私は思います。文法はどうでしょうか？ 単語を並べただけの英語でも、場合によってはその方が分かりやすい場合もあります。

間違いを気にするよりも、「おもてなし」の英語を意識しましょう。おもてなしは英語で言うと“hospitality”です。ここで、おもてなしになる英語、おもてなしにならない英語を考えてみましょう。

おもてなしにならない英語は、「何とかなる」と考えて英語の勉強をしない」「間違えるのを恐れて無言になる」「実際に使うとなると緊張して固くなる」様な事を言います。間違えることを恐れて黙ってしまう、何も言わない。緊張して固くなってしまふこともおもてなしとは言えません。こういった場合外国人は、英語ができないと思うだけでなく、外国人のことを嫌いなのかな、何か怒っているのかなと考えてしまいます。

おもてなしになる英語は、「少しでも自信を持って英語を話せるように勉強する」「実際に英語を使うときは間違いを気にしない」、そして何より「スマイル」。スマイルは世界共通語です。

ここで皆さんにおもてなしの“oh”を伝授します。“Oh”自体には意味はありませんが、感情を込めて話すと「なるほど」の意味になりますし、楽しそうに話すと「よかった」の意味にもなります。また、申し訳なさそうに話すと「謝罪」や「残念」の意味にもなるのです。英語が話せなくても、“oh”だけで色々な感情が表現できるので、ぜひ使ってみてください。

英語を上達する一番いい方法は何でしょう？ それは、「留学」することです。ただ、これから仕事を辞めて留学しようと考えている人はいますか？ いらないですね。ではみなさん、留学の代わりに「脳内留学」をしてみませんか？ 一日の中でほんの数分でもかなわないので、これから何をするのかということを英語で考えてみてください。自分が考えていること、これから何をするのかということを英語で考え、伝えてみてください。最初のうちは単語だけでもいいですよ。こういうことだな、なるほどという感覚を使って考えてみてください。

私は、皆さんに英語が上手になってほしいということだけでなく、皆さんに外国人が近づいてきても、「あー、まずい」「嫌だな」と考えたり、逃げてしまうようなことが少しでもなくなればいいなと思っています。皆さんが、「おもてなし」の気持ちをもって外国人と話せるようになればいいなと思っています。ペラペラになる必要はないけれど、少しでもいいから英語を使って外国人とコミュニケーションを取ろうとする気持ちを大切にしてください。



Thanks and have a nice day!

(平成30年作成)